

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	SNSを利用し、研修や勉強会の充実	・毎日配信をおこない、発達障害についての情報を発信している ・毎週土曜日に事業所内で、支援やサービスについての勉強会をおこない、支援力の向上に取り組んでいる	・発達障害を持つ保護者の方への相談や助言をおこない、福祉サービスのつながりや理解を広めていく
2	多様性を重視している	・自由な空間の中で、子どもたちが主体となり過ごせるように支援している ・目標設定や個別支援計画の作成の際に、保護者だけでなく児童の意見を取り入れるようにしている ・障害の有無や年齢に関係なく、受け入れている	・日々の小集団トレーニングやDIDIMに加え、個別支援にも取り組み、より一人一人のニーズに合った支援ができるようにしていく
3	不登校児の受け入れも積極的に受け入れている	・学校に行けていない児童に対しても、余暇時間やトレーニング時間を通して、自立に向けた支援をおこなっている	・近隣の学校など、事業所の取り組みを知ってもらおう

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	車での送迎がない	・自立を目的とし、徒歩通所や公共交通機関を使用できるように支援しているため	・利用開始時に保護者や利用者に説明をおこないご理解をいただく ・自立に向けて練習期間を設け同行支援をおこなう
2	地域との交流が少ない	・地域との交流の機会がなかった	・地域を巻き込んだイベントの開催をおこなう
3	学校との連携	・学校や保護者からの希望での会議の開催はあるが、事業所発信の会議の開催ができていない	・送迎の際に、学校との情報共有をおこない関係構築を図る ・営業活動に力を入れる